

# 第三回高校生国際シンポジウム 実施報告書

一般社団法人 Glocal Academy

## 大会概要

- 主催 高校生国際シンポジウム実行委員会  
(一般社団法人 Glocal Academy, 鹿児島県立甲南高等学校)
- 後援 鹿児島県教育委員会, 鹿児島市教育委員会
- 協賛 株式会社西原商会 (特別協賛)  
株式会社 新興出版社啓林館, 株式会社 JTB 九州
- テーマ 「21世紀に生きる我々は、より良い未来を実現するために何をすべきか」
- 目的 日頃の研究成果をスライド発表やポスター発表としてまとめ、生徒が自らの考えを発表するとともに、生徒間の交流を深めながら今後の課題研究を進めていく指針を得る。
- 期日・会場 平成30年1月31日(水), 2月1日(木) サンエールかごしま  
〒890-0054 鹿児島県鹿児島市荒田1丁目4-1
- 日程

【1日目】 1月31日(水)		【2日目】 2月1日(木)	
受付	10:00~10:30	受付	10:00~10:30
開会行事	10:40~11:10	研究発表コンテスト	10:30~11:30
基調講演	11:15~11:45	・スライド発表の部	
昼食	11:45~12:45	・ポスター発表の部	
パネルディスカッション	12:45~14:00	第3部	
研究発表コンテスト(※1)	14:30~17:30	昼食・参加生徒交流会	11:30~14:00
・スライド発表の部		講評・ゲスト講演等	14:15~15:30
・ポスター発表の部		表彰式(※3)	15:30~15:45
第1部	(14:30~15:30)	最優秀発表(※4)	15:45~16:00
第2部	(16:00~17:30)	閉会行事	16:00~16:20
審査員・パネリストとの交流会・研修会(※2)	18:00~		
意見交換会(※2)	20:00~		

- 8 参加校 15都道府県より29校(参加)
- 9 動員数 427名(1月31日) 397名(2月1日)
- 10 広告掲載 28社
- 11 審査員一覧

課題研究発表会 審査員一覧(敬称略) 審査統括責任者:岡本 尚也(一般社団法人glocal Academy)

スライド発表の部		部門審査委員長:日下部元雄
分野	氏名	所属
1 国際問題・環境	日下部 元雄	(株)オープン・シティー研究所、立命館アジア太平洋大学(APU)大学院
	バネッサ・善治(ゼンジ)	在福岡アメリカ領事館 広報担当領事兼福岡アメリカン・センター館長
	大園 博記	鹿児島大学法文学部 准教授
	河野 久	宮崎大学国際連携センター 国際コーディネーター
2 地域活性化	松田 忠大	鹿児島大学法文学部 教授
	島津 公保	島津興業 取締役相談役
	日下部 笑美	立教大学大学院客員教授、(株)オープン・シティー研究所
	王鏡凱	鹿児島大学法文学部 准教授
3 国内社会問題	Alison Beale	オックスフォード大学日本事務所代表
	Anton Sevilla	九州大学大学院 講師
	阿部 純一	鹿児島大学法文学部 准教授
	木村 大輔	一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(Gift)
4 自然科学分野	上田 正人	関西大学化学生命工学部 教授
	宇津木 光代	シュプリングナーネイチャー
	Mun'delanji Vestergaard	鹿児島大学農学部 准教授
	橋本 雅仁	鹿児島大学工学部 教授

ポスター発表の部		部門審査委員長:隅田学
分野	氏名	所属
1 地域問題	尾崎 孝宏	鹿児島大学法文学部 教授
	西橋 瑞穂	鹿児島県教育庁 社会教育課長
	福島 三穂子	宮崎大学地域資源創成学部
2 国内社会問題	宮石 建治	在福岡アメリカ領事館
	濱屋 夏美	鹿児島県教育庁 高校教育課指導主事
	廣田 千佳	新興出版社啓林館
3 文化・教育分野	藤内 哲也	鹿児島大学法文学部 教授
	新名主 敏史	鹿児島修学館高校
	石澤 麻子	フリーエディター
4 自然科学分野	隅田 学	愛媛大学教育学部教授、愛媛大学附属高等学校副校長
	福島 誠治	鹿児島大学工学部 教授
	大塚 作一	鹿児島大学工学部 教授
	森田 忠和	鹿児島県教育庁 研究主事

## 研究発表審査結果

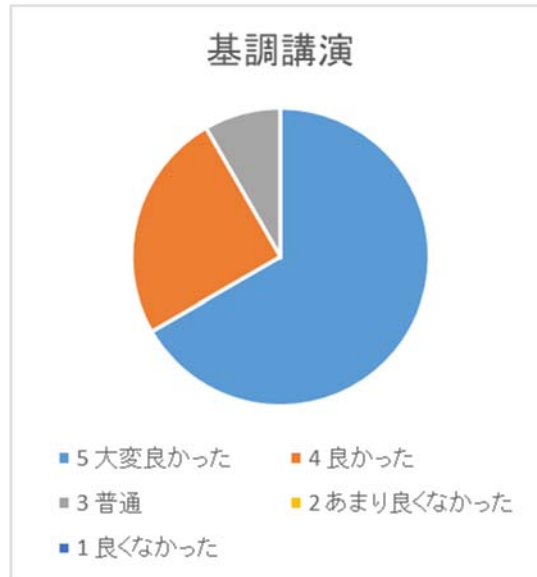
### 第3回高校生国際シンポジウム入賞者一覧

■最優秀グランプリ：成瀬 茉倫(大島北)

	スライド発表			
	分野1	分野2	分野3	分野4
	国際問題・環境	地域活性化	国内社会問題	自然科学分野
最優秀賞	山室 美南 (名城大学附属)	成瀬 茉倫 (大島北)	中村 香凛 (五ヶ瀬)	安田 千智 (甲南)
優秀賞	竹原 萌奈美 (甲南)	新田 笑花 他 (鶴丸)	上床 蘭 (甲南)	嶋元 健人 他 (宮崎大宮)
優良賞	中村 響 (鹿児島修学館)	河野 真依 (五ヶ瀬)	大西 康介 他 (鶴丸)	牧野 楓也 (札幌日本大学)
	ポスター発表			
	分野1	分野2	分野3	分野4
	地域問題	国内社会問題	文化・教育問題	自然科学分野
最優秀賞	狩野 愛 他 (甲南)	児玉 青莉 (甲南)	辛島 綺羅里 (甲南)	上戸 智香 (甲南)
優秀賞	福永 省吾 (甲南)	郡山 愁麻 他 (甲南)	荒谷 知弥 (甲南)	笹山 順平 他 (宮崎大宮)
優良賞	河野 由佳 (済々黌)	竹山 英里 (甲南)	樋口 尚宏 (甲南)	池田 梨音 他 (宮崎大宮)

### 1.3 アンケート結果

#### ① 基調講演に関して

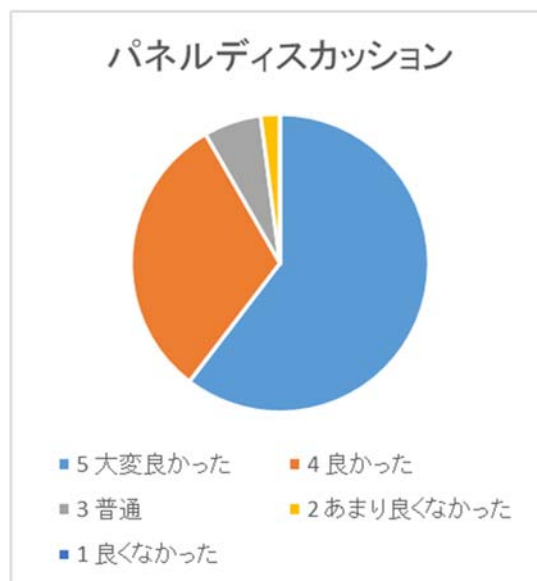


・ output と input の大切さと今後求められるであろうことが伝わった。また、3つの目を磨き、使うことと input はあくまで手段であり目的は output だということを頭の片隅に置いて生活したいと思った。

・ 勉強に関する概念が変わり、自分の将来について考える良い機会になった。

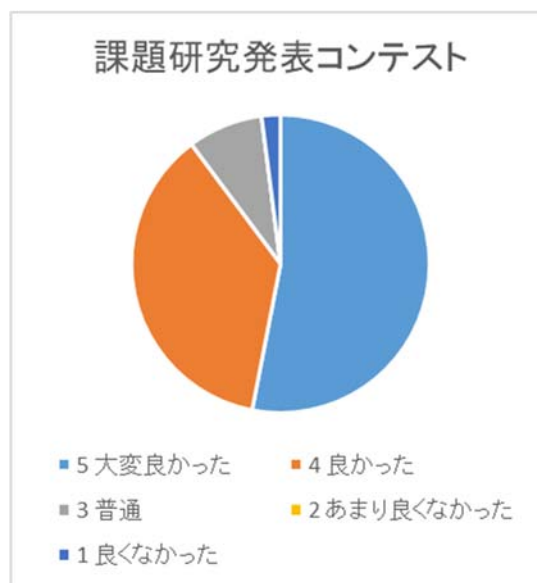
・ 自分たちの未来について考えることは非常に重要だと感じた。感銘を受けた。大阪大学を受験する予定。

#### ② パネルディスカッションについて



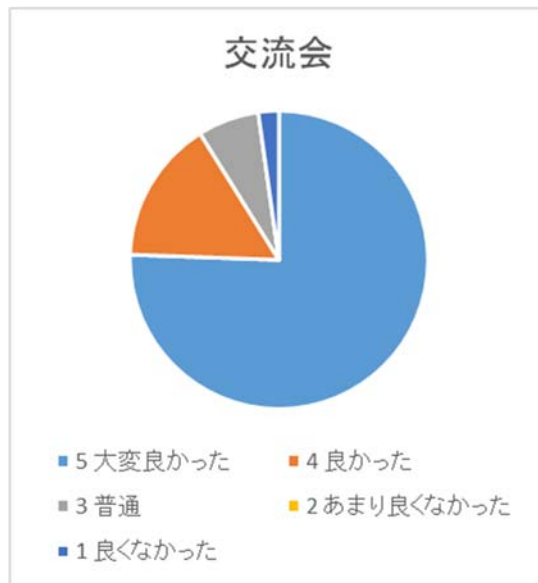
- ・内発的動機づけという言葉を中心に、パネラーの方々の考えや信念といったものが伺えて楽しかった。また、益田先生の「楽しくなければやりきれない。」という言葉には、課題研究のテーマを決めるときに母に言われた言葉と似ていてはっとさせられました。
- ・色々な立場の意見が聞けて良かったし、科学研究の先端について学ぶことができた。
- ・ページが足りなくなるほどにたくさんのことを学べた。
- ・多方面の専門家の対話に関心を持って聞くことができた。

### ③課題研究コンテストについて



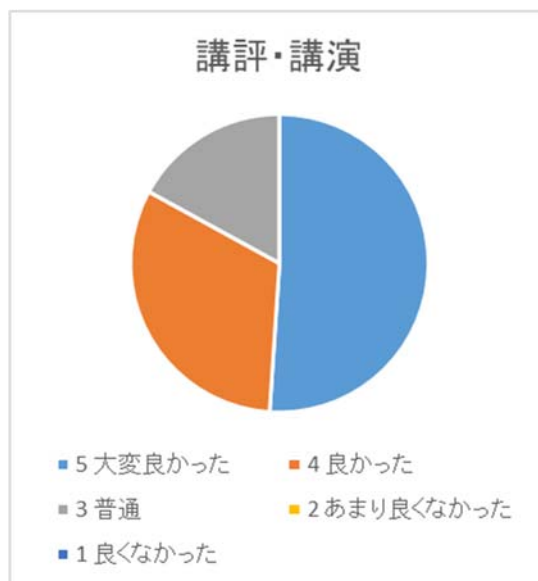
- ・どこの学校もよく研究されていてレベルが高く驚いた。ぜひこのシンポジウムに発展してもらいたい。
- ・生徒たちのシンポジウムに対する意気込みとそれに対する深掘りがすごい、素晴らしいと感じた。
- ・非常に良い、このコンテストに参加するためにここに来た。
- ・指導する側にもよるのか、聞いていてもっといいものができただろうと思うものもあった。私自身もそう思われているかもしれないが、できる最善のことができたので悔いはない。ただ、英語の加点が思った以上に大きかった。

### ④交流会に関して



- ・ 県外及び様々な学校の高校生と交流を図れてよかった。
- ・ 多くの友人を作れた。
- ・ たくさんの人（学生だけでなく先生とも）と話せた。
- ・ 交流を通して新しい発見、学びが多くあった。
- ・ 改めてモチベーションを向上し、やるべきことが整理できた。 ・ とても意義のある貴重な会であると思う
- ・ 特定の地域でかたまることなく多くの人と交流できた。

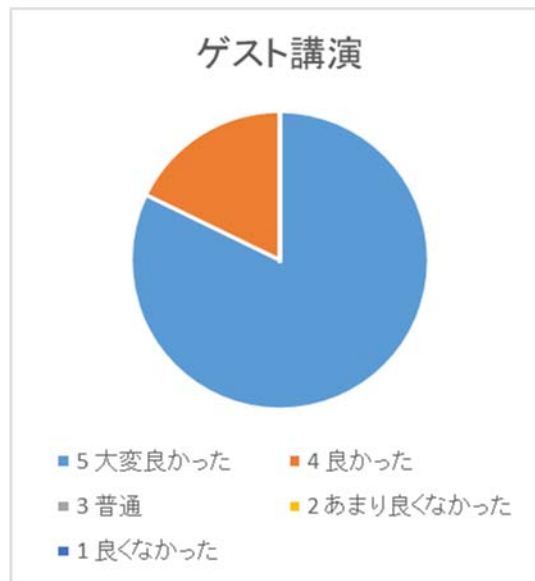
#### ⑤ 講評・講演に関して



- ・ 今後、自分が研究していくうえで改善した方が良いところが見つかって良かった。

- ・課題研究の有無を学んだ。
- ・とてもためになった。
- ・ほかの生徒の研究内容が詳しく分かった。
- ・考えを改めるべきだと思った。
- ・審査ポイントが分かった。

#### ⑥ゲスト講演に関して



- ・独特の価値観が話に織り交ぜられていて、聞いていてとても面白かったし楽しかった。「好きな分野で土俵を作る。負けない土俵を作る。」という言葉に後押しされたような気がした。
- ・ユーモアを交えて話されていて、面白く、ためになった。
- ・将来について見直す機会となった。自分の好きなことを見つけて極めていきたい。時間を大切に勢いよく生活していきたい。
- ・熱いスピーチでとても心に残った。

#### ⑦大会全体に関して

- ・普段ならば交流のない相手と知り合うきっかけになった、貴重な時間でした。全国から集まった相手と同じ土俵で戦えたことに感謝です。
- また、普段知り得ないような問題について発表を通して知ることができた。大切な時間でした。

・たくさんの人の考えを聞いて、懸命に自分達の考えを伝えようとして、本当に今までにない良い経験ができました。他校の人とも交流ができ、つながりが増えたこともとてもうれしいです。

・とても勉強になりました。岡本さん、甲南高校の先生の方々、生徒の皆さんには本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

・出場人数が多く素晴らしい会でした。

・大変質の高い発表だった。

・今後の課題研究に生かしたいと思う。準備がよく、スムーズに運営されて生徒も教員も有意義な活動ができた。良い研究をしてまた来年参加できるようにしたい。

・全体のレベルが高く、生徒たちには大変勉強になったようです。良い企画だったと思う。